

## 2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 敦賀気比高校付属中学校 ] 担当教諭名 [ 今井 尚子 ] ( 1-3年縦割りグループ 21名 )

相手国・地域 [ スリランカ ]

海外学校名 [ Devi Balika Vidyalaya ] 担当教諭名 [ Rukshala Galagedara ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際交流班	35

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	私たちがスリランカと日本の架け橋になる。
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	スリランカと日本は仏教文化で繋がっていることを知り、実際に同じような行事を行っていることで親しみが湧きました。またスリランカにも日本にも素晴らしい自然や世界遺産があることを知りました。知ることは更なる興味に繋がると思うので、どんどんコミュニケーションを取って知らない国を知ることが大切だ。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化に触れることで様々な考え方を知ることが出来た。</li> <li>・英語で一生懸命伝えようとする気持ちが育ち、英語学習の重要性に気づく生徒が出てきた。</li> <li>・協力して一つの絵を仕上げることで思いやりが育った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Skype で交流を図るときに3年生中心でやることになり、1・2年生は置き去りになってしまうことがあった。</li> <li>・相手校と頻繁に連絡を取る工夫をしなければならぬと感じた。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
最初は韓流ブームや身近な中国や台湾との交流を望んでいたが、Skype で顔合わせをした瞬間から、なじみがなく遠い国であるスリランカの方が、とても近く、長年の友達のような気持ちで接するようになった。	日本が予想していないところで異国と繋がっている事実を知り、新たに書物を読むきっかけになった。また一緒に絵を描くのも十分すごいことだが、壁画作成ではなく、その過程を大切にすることを強く感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	パワーポイントを利用した地元の動画を創り、電子フォーラムにアップした。名前を覚えてもらうため、自己紹介カードを作り、スカイプで自己紹介を行った。	英語での自己紹介などは学年によって英語力の違いがあり、苦勞しているところもあった。Skypeで顔合わせをして相手との距離が一気に縮まったように感じた。	総合 5
共有 テーマ学習	10月	自分たちが描きたいものを電子フォーラムや Skype を使って共有する。それを単なるものでなくてテーマで捉えようとした。	日本の伝統的な文化や遺跡を紹介することを通して日本の良さを伝えたいと思ったが、具体的な品物を列挙されたので、戸惑っていた。しかしそれぞれを調べることで興味関心が高まった。	総合 5
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	どんな絵にするとよいか、まずは日本のグループ内で話し合い、構図や分担などについて電子フォーラムや Skype を使って、デビバリカ校と話し合いをした。	テーマを掘り下げの中で生徒達は過去、現在、未来を表したいと考えるようになり、相手国のスリランカの生徒から2国の架け橋になれるよう伝統衣装を着た二人が握手する姿を描くという提案に賛成していた。	総合 5
創造 壁画制作	12月	決めた構成を元に実際に絵を描きあげる。	期末考査期間と相手校が最終的に私たちの下絵に対してOKをくれるかどうかの確認が取れず時間が過ぎ、実際には1週間で絵を仕上げたので、描く時間が短いという不満もあった。	総合 10
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	成果発表会を行うための資料を作り、発表会を行い、自分たちの活動の振り返りと今後の課題などについて発表した。	英語で思い表現することが難しかったので、もっと勉強をして英語力を高めたい。自分たちと違う文化に触れることで一つの考え方にとらわれず、物事を考えることができた。3年生に負担がかかった。相手国の生徒と頻繁に連絡を取りたい、という感想があった。	総合 10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	紹介するためには、自分たちが理解することが重要であり、分かってもらおうと一生懸命調べ学習を行っていた。
異文化を理解する力	4	送られてくる自己紹介をクラッシーのポートフォリオ機能を使って配信したところ、時間を見つけて読んでいる生徒達が数多く見られた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	パワーポイントを利用して自分たちの街を紹介したり、成果発表会で活動を振り返ったりと充実した活動を行った。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	双方のコミュニケーションになると、相手の話が速いために理解できず、LISTENINGの重要性を感じる生徒が多くいた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	新しい情報に関しては、どうしても鵜呑みにしてしまう傾向が強く、問題意識を持ちにくいようであった。
主体的に考え行動する力	4	絵を作成するに当たり、11パートに分けて作成したために、それぞれが自分たちのテーマをどう表現するか、よく考えていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	十分に英語を理解できないなりに、自主的にコミュニケーションを取ったり、相手の返信を毎日のようにチェックする様子も見られた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	日本の花である桜を上手に描くために三色のピンクを作ったり、金色を作るために苦勞したりしていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	良いものを良いと認められる素直なところが見られる一方、自分たちの活動を振り返る際にはなかなか客観的に見られないところもあった。